

はるさめ　ぬ　つぼみ
春雨に濡れし蕾の花なれば
あ　そで　た　お
吾が袖寄せて手折らむ一枝

令和七年二月八日

大中臣正比呂



花は白梅か、それともしだれの紅梅か。季節が進めば桃花とも櫻花ともなろう。昔から、花は美しき女性、蕾は十七歳と云う設定である。

あ、そういえば筆者の行きつけの店のボトルもバラнтаインの十七年、
むろ　こぐち
室の小口で昼寝していた三吉姐さんも花開き、蝶が舞う。

え、歌の意味はって？　知るもんか、フジテレビにでも聞いとくれ。

四月上旬の小城公園、桜が岡では長崎芸者衆が「春雨」を披露するってき。

とおで
遠出してくれるのかしら。